

経産省認定ビジネスパーソン向け『Reスキル講座』です。

ひと、暮らし、みらいのために

受講者給付金 (70%・80%)
事業主助成金 (60%・75%)

詳しくは本講座サイトをご参照ください。

ビジネス データサイエンス 実践力養成講座

本講座の特徴

☑ **ビジネスパーソンの分析初心者向けのオンデマンド講座です。** 高度な数学、プログラミングの知識は不要です

☑ **データサイエンスを体系的に学び、ビジネスに必須の実践的分析力の習得を目指します。**



データの取得

社内データ、社外オープンデータ、センサーデータの活用方法



データ分析方法の種類としくみ

分析目的に合う手法の最適な選択方法、各手法のしくみ・適用範囲



データの分類・加工方法

データ特性に合わせた集計方法、欠損値・外れ値・異常値の対応方法



課題に応じた適切な分析手法を活用する実践力

課題設定～データ取得・整備～手法の選択～結果の解釈

オンデマンド受講

講師、メンターによる個別・全面的サポート
受講中、リアルタイム質問(チャット)に対応
受講後、メール、ZOOM等による質問対応
課題の添削・助言、プレゼン作成時全面的指導

実践的分析力の習得

- ビジネス分野に必須の分析手法を習得します。
- ビジネス分野に特徴的なデータ演習を行います。
- プレゼンを通じて課題解決力を養成します。

受講後1年間サポート

- 講座は、講座修了後、1年間視聴可能です。
- 様々なご質問等に講座修了後1年間対応します。

料金 標準学習時間 修了認定要件

料金 50万円(税込)
個人: 給付金適用後100,000円～150,000円
法人: 給付金適用後125,000円～200,000円
企業分類により異なります。

標準学習時間 約103時間(下記、追加カリキュラムは含みません。)(約4カ月)

[受講(66時間)+課題演習+課題解決プレゼン(37時間)
注) 演習課題、及び課題解決プレゼンテーションの作成時間には個人差があります。]

受講方法 オンデマンド受講
(お申込み後5営業日以降に開始可能です。)

修了認定要件 下記3要件を満たした場合、修了認定証を発行します。

- ・全科目受講(各科目90%以上出席)
- ・各科目課題の全提出・合格(不合格の場合は再提出)
- ・課題解決プレゼンテーションに合格

課題解決プレゼンテーションに不合格の場合

1. 受講者はメンターと不合格事由について詳細に検討します。
2. 理解不足の科目がある場合は、再受講をします。
3. プレゼンテーション資料の再作成をして頂きます。
4. 総合的に審査し、合格の場合は、修了認定証を発行します。

追加カリキュラム

通常のカリキュラムに加えて、
特別カリキュラム(約12時間)を追加します。

- ・実践的な事例演習を実施します。(SAS Studio等の活用)
- ・受講者の目的・要望に沿った演習を実施します。

受講サポート (LMS)

- ・講義内容への質問: 受講中は、リアルタイムにオンラインチャットにより対応。受講後は、専用メールアドレスにより対応します。(受講者の質問、及び回答は、専用ページにより表示されます。)
- ・メンターによる個別サポート: メール、zoom等を用いて個別に対応いたします。

- ・補講の実施: 受講者の理解度に合わせ必要に応じて補講を実施します。
- ・受講履歴は、専用マイページから確認できます。
- ・課題解決プレゼンテーションの作成には、講師陣がご相談に応じます。
- ・各講座は、受講修了後、約1年間視聴可能ですので、習得知識の確認、活用に役立ててください。ご質問も引き続き可能です。

カリキュラム

- データサイエンスにおける必須知識 (統計学、R、Python...) を習得します。
- 多くのビジネス事例演習により実務に適用できる実践力を養成します。

実践統計学

- データの視覚
- 基本統計
- 分布
- 母集団と標本
- t検定
- カイ2乗検定
- 相関分析
- 重回帰分析

ビジネスにおけるデータ分析の実践

- Rとは
- Rの基本的な使用方法
- 基本統計量、グラフ
- グラフと外れ値
- t検定
- 2種類の過誤とサンプルサイズ
- ノンパラメトリック検定
- 重回帰分析
- ロジスティック回帰分析
- 主成分分析

AI手法の習得

- Pythonの基礎
- データ加工の基本
- 教師あり学習：数値予測
- 教師あり学習：クラス分類
- 教師なし学習：クラスタリング
- 教師なし学習：アソシエーション分析
- 自然言語処理とテキストマイニング

実践力の養成

- デジタルマーケティングとは
- 顧客分類と成約要因の分析
- 売上と広告効果の分析
- アソシエーション分析による併売分析
- レコメンデーションモデルの構築
- ECサイトレビュー分析
- テーブルデータの分析
- 人流データの分析
- 機械学習の流れ
- スパムSMSの分類
- 画像処理
- アンケート調査法
- 販売予測・需要予測
- 意思決定法

演習事例

- 営業報酬一覧データについて箱ひげ図を作成し外れ値を検出する
- 研修前後の成績をZ値(偏差値)により比較する
- 製品の有効成分含有量が表示どおりか調べる
- 新製品における好感度を男女別に比較し、男女の違いの有無について調べる
- 商品説明の前後における理解度調査によって説明方法の妥当性について検討する
- 曜日別売上高データから、曜日による売上高の違いについて検討する
- 年齢階層による主力製品の選択の違いについて検討する
- 中古車における走行距離と車両価格の関係について調べる。
- 駅前コンビニと売上に影響を与える諸要因の有無と影響力について検討する。
- 携帯電話における満足度と機能とデザインについて男女別に検討する
- 訪問回数と成約件数の関係について分析する
- 入社試験における数科目の成績データから新入社員の成績を構成する要因を検討する
- マンション価格と駅からの距離、築年数、面積等との関係について調べる。
- 自動車メーカーのイメージ調査結果についてメーカーを分類する
- POSデータのアソシエーション分析から同時購入について調べる
- HP問い合わせ顧客データから成約条件に影響を与える要因を探索し予測モデルを構築する
- 飲料売上高と広告出稿量から売上予測モデルの構築、影響因子の探索を行う
- 売上予測モデルについてニューラルネットワークを用いて精度を向上させる
- 寿司ネタ評価データについて、類似ユーザーの抽出、評価予測モデルを構築する
- レビューコメントデータからワードクラウドを作成する
- 政府統計オープンデータ「都道府県別人口統計」をダウンロードし、グラフを作成する。
- 特定のエリアの気象情報を収集し、整形して表示する
- 支店別売上高を対数グラフにより比較する
- 百貨店の過去の3年間の売上高実績から次年度の月別売上高を予測する
- 市場規模を、トレンド、季節指数を用いた回帰分析により予測する
- 外れ値を含むデータについて売上高を予測する
- イベント開催時における保険加入の是非について統計的意味決定法により検討する

特別カリキュラム

- 実践的な手法の習得 最新の手法(因果推論等)について扱います。
- 受講者の目的・要望による演習(SAS Studio等の活用) 受講者の要望等を取り入れた実践的な演習を行います。

受講までの流れ

法人の方

本講座はビジネスパーソンを対象とした「助成金」対象講座です。

「データサイエンス実践力」を養成する社内研修にお役立てください。

- 分野(業種)に合わせカリキュラムのカスタマイズ、追加等が可能です。
- 受講状況の受講者別報告、受講後1カ年、業務適応等へのサポートに対応します。
- 個別に対応いたします。下記、「個別 ご相談」よりご依頼ください

個人の方

懸念事項についてご相談ください。データサイエンスの専門家が個別に対応します。

- 初心者でも可能かどうか？
- 具体的な学習内容
- 習得できるスキル
- 業務への適応方法...

詳細はこちら

URL <https://datascience.co.jp/reskill/sas/>

個別相談(無料)

URL <https://datascience.co.jp/booking-form/>

お問い合わせ



株式会社データサイエンス研究所
〒102-0093 東京都千代田区平河町
2丁目5番5号

<https://datascience.co.jp/>
info@datascience.co.jp